

福井県文学特別顧問

加賀美幸子と声に出して味わう

『方丈記』と

『新古今和歌集』の風景

／今を生きる私たちの心に響く作者たちの思い／

『方丈記』と『新古今和歌集』はともに鎌倉時代初期に成立した古典文学です。歌人であった鴨長明は『新古今和歌集』の編纂に携わりながらも、編纂半ばで出家したといわれています。出家した長明は、地震や火事などの災害、自然の移ろい、人の世の無常を静かに見つめ、心の内を『方丈記』に綴りました。現代に生きる私たちもまた、気候変動や感染症、社会の不安定さなど、予測のつかない変化の中で暮らしています。長明が見つめた「世の無常」は、今の世の中にも深く通じるものがあります。

今回は、加賀美氏のお話を聞き、長明の言葉や和歌の響きを声に出して味わいながら、『方丈記』と『新古今和歌集』に共通する「自然の移ろい」や「人の世の無常」に耳を傾けます。古典を声に出して読むことで、文字だけでは伝わりにくい情感が立ち上がり、作者の思いが時代を越えて私たちの心に届きます。

遠い時代から語りかける言葉が、現代の私たちの心にどのように響くのか——そのひとときをお楽しみください。

令和7年

11月23日

13:30 ▶ 15:30

福井県立図書館 多目的ホール

(福井市下馬町 51-11)

申込・問い合わせ先

福井県教育庁生涯学習・文化財課

TEL／0776-20-0559 受付時間／平日 9:00～17:00

申込受付開始日：11月4日(火)

2次元コードからも申込可

定員

100名

(申込制・先着順)



主催／福井県教育委員会

福井県文学特別顧問

かがみ さちこ

講師

加賀美 幸子氏

1963年、NHK入局。ニュースから古典まで多くの番組を担当、幅広く活躍。女性初の理事待遇となる。

現在もライフワークとして古典の原文朗読を中心に、放送、講演、講座など様々な活動を展開。

「千葉市男女共同参画センター名誉館長」「NPO日本朗読文化協会名誉会長」「放送人の会」理事「日本文藝家協会会員」「NHK文化センター」講師などを務めている。

著書に『こころを動かす言葉』『ことばの心・言葉の力』『読み聞かせる戦争』他。教科書に三つのエッセイも取り入れられている。

